

団体紹介

CATEGORY
子育て環境日本一



府民交流フェスタ > 団体紹介 > 子育て環境日本一 > 稲荷の家ほっこり

稲荷の家ほっこり

目次

- 医療的ケアの必要なお子さんとそのご家族の居場所「ほっこりちゃん」
 - イベントの開催～季節のイベントから学習会まで～
 - 講師を招いた学習会
 - ほっこりちゃん写真展
 - イベントで楽しいひととき。家族同士の繋がりがも。
 - 健康管理の徹底
 - ほっこりちゃんは居場所
 - コロナ禍での新しい活動～リモートでのイベント開催～
 - ラジオで発信「医療的ケア児が集う場所」

団体紹介

フリーワード

検索

子育て環境日本一

府民活動

文化創造

新産業創造 成長

災害・犯罪等からの安全・安心

医療的ケアの必要なお子さんとそのご家族の居場所「ほっこりちゃん」

「稲荷の家ほっこり」は、京都老人福祉協会が高齢者・児童向けサービスの場として伏見区にて運営されている福祉施設です。一階を高齢者向けサービス、二階を子育て支援スペースとして活用される中で、毎月一回開催される、医療的ケアの必要なお子さんとそのご家族が集まる場が「ほっこりちゃん」です。



呼吸器や酸素吸入器、吸引機が必要な子ども、体調を崩しやすい貴重なケアが必要な子ども、そんな子どもたちが気軽に集まって、保育スタッフが見守る中、豊の部屋でゆっくりおしゃべりしたり、簡単な工作や手遊びをしたり。お父さん、親御さんが交流できる場です。お子さんの集まる施設に行ってみなければ、大勢の中にはちょっと...というお友達も、是非一緒にほっこり楽しいひと時を過ごしませんか？

イベントの開催～季節のイベントから学習会まで～

講師を招いた学習会

2020年11月に行われた学習会。支援学校の先生を招き、お話をいただく全3回開催の最終回でした。保護者の方にとってお子さんの進路選択のヒントである支援学校とはどんなものなのかという共通のお話に加え、それぞれの場で異なるテーマについて講義されました。

この日のテーマは「身体への働き」。子どもひとりひとりの身体の状態、気になると、悩みも違うので、支援学校に行く前に専門の先生にゆっくりお話を聞き、相談できることは保護者の方にとって貴重な機会となりました。



今回参加された利用者さんの方は、

「支援学校がどんな感じなのかコミニなどでは聞きますが、実際に子どもたちと接しておられる先生に気になる内容が聞くことができました。」

「専門に医療的ケアが必要な子どもをみておられる先生に質問ができる。貴重な機会。身体のことを専門とされているので、子どもの身体の悩みを相談できてよかったです。」

「支援学校での取り組み・対応の話も聞くことで、自分の子どもにもそれが合っているかも、今度学校に相談してみよう、と勉強になりました。」

と、有意義な時間を過ごされた様子でした。

「支援学校の外で先生にゆっくりお話を聞く、学校のように教えてもらえるほっこりちゃんのような場所はないか他にはありません。」という利用者さんに、みなさんうなずきます。親御さんの悩み・心配事に寄り添ってくれる場所が、ほっこりちゃんです。

ほっこりちゃん写真展

明年地域の多目的スペースなどを借りて、利用者さん、行政や関係機関の方々をお招きして活動を知ってもらうことを目的として開催されているパネル展示会。コロナウイルスの影響により、密を避けるという点で見送りかと思われましたが、いつもと場所を変えてカフェや病院の待合室など、地域の目の目に止まる場所に写真展として開催することになりました。



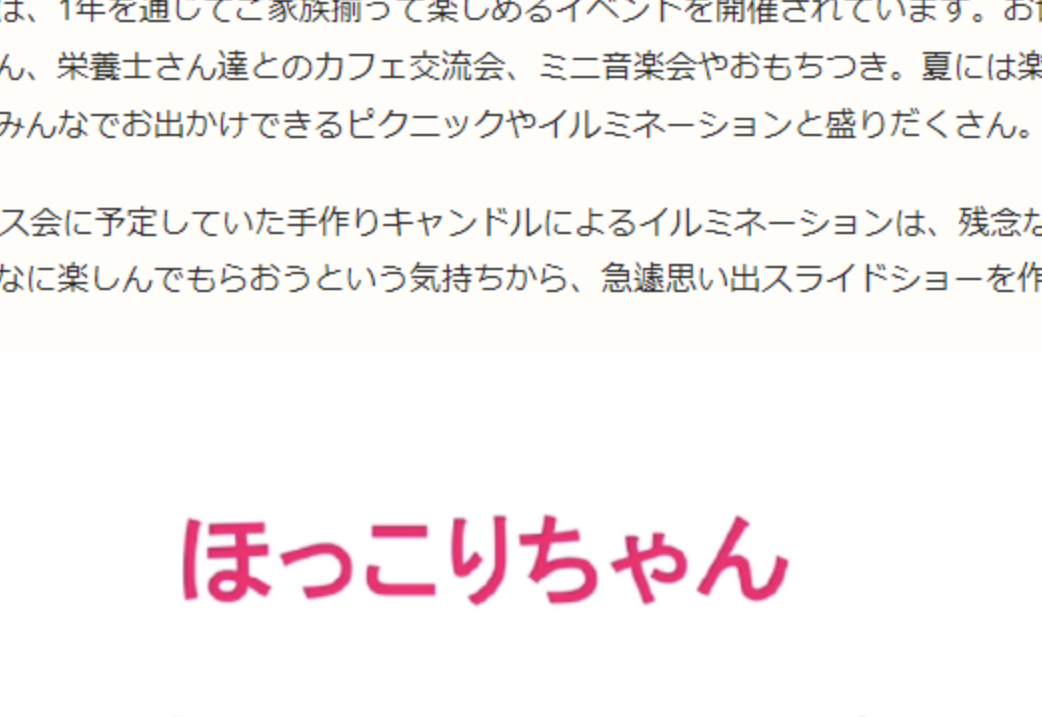
ちひろばのマスター大山さんは、知り合いであるほっこりちゃんのスタッフさんに写真展の開催場所について相談を受け、「ではうちでやりましょう！」と声を掛けられました。

「ほっこりちゃんという場所があること、医療的ケアの必要なお子さんが地域にいてることを知ってもらえれば、次は子どもたちも一緒にワークショップなんかもいいですね」と次回のアイデアも膨らみます。

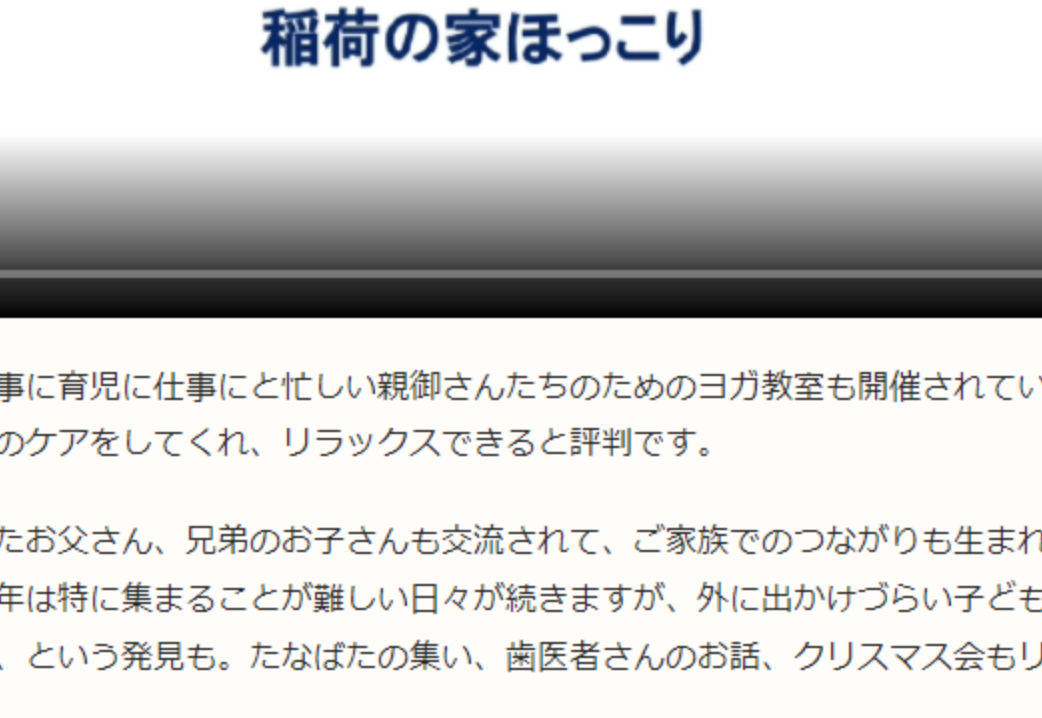
数年前に撮影した写真に写っているお子さんとそのご家族が来店し、その前で家族みんなで記念写真を撮影されるという場面もあつたそうで、「え！そんなんですか。」ととても嬉しそうにされるスタッフの小嶋さんの姿が印象的でした。



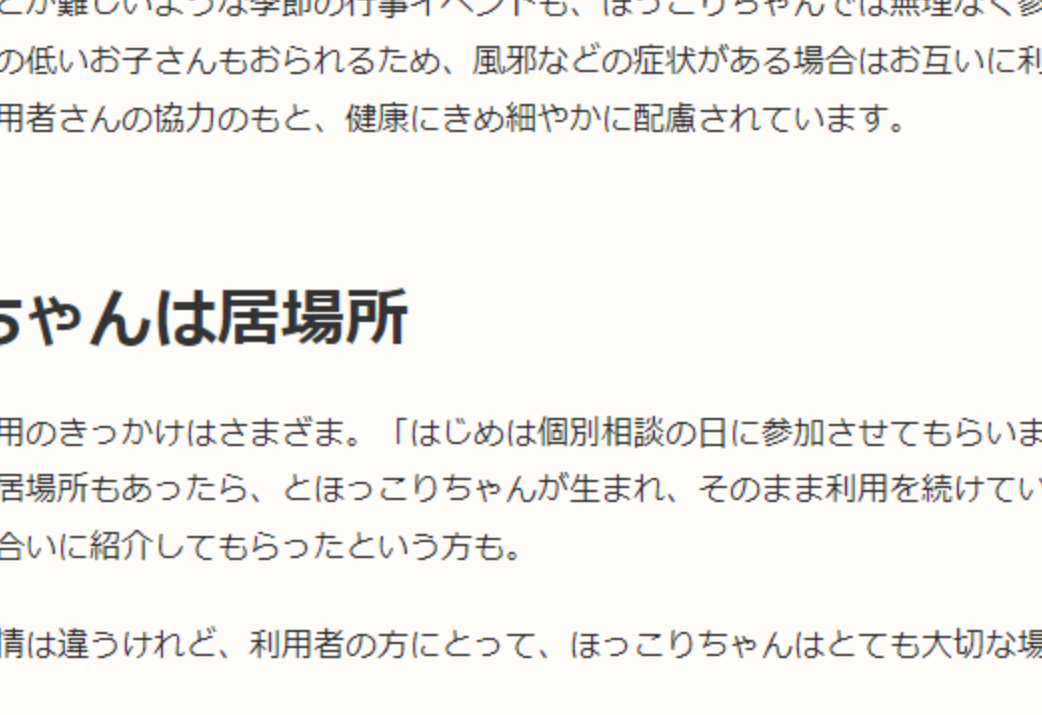
席へと進む手前のギャラリー



写真展の概要



約1席に枚、写真がずらっと並びます



写真を見た方からのメッセージブック

イベントで楽しいひととき。家族同士の繋がりがも。

ほっこりちゃんでは、1年を通じてご家族揃って楽しめるイベントを開催されています。お世話になっている歯医者さんや看護士さん、栄養士さん達とのカフェ交流会、ミニ音楽会やおもつき。夏には楽しい流しそうめんや水遊び、さらに家族みんなで出かけできるピクニックやレクリエーションと盛りだくさん。

2019年のクリスマス会に予定していた手作りキャンドルによるイルミネーションは、残念ながら雨で中止に。せっかくの機会にみんなに楽しんでもらうという気持ちから、急遽出しスライドショーを作成、上映しました。



ほっこりちゃん おもいでアルバム 稲荷の家ほっこり

また、普段から家事に育児に仕事に忙しい親御さんたちのためのヨガ教室も開催されています。教室中はスタッフさんがお子さんのケアをしてくれ、リラックスできると評判です。

「遊びに来てくれたお父さん、兄弟のお子さんも交流されて、ご家族のつながりも生まれています。」とスタッフの小嶋さん。今年は特に集まるのが嬉しい日々が続きますが、外出がけづらいうちの子どもたちも、リモートなら気軽に参加できる、という発見も。たなばたの集い、歯医者さんのお話、クリスマス会もリモートで開催されました。

健康管理の徹底

普段は少しくることが多い季節の行事イベントも、ほっこりちゃんでは無理なく参加できるよう企画されています。免疫力の低いお子さんもおられるため、風邪などの症状がある場合はお互いに利用を控えるなど約束を決められて、利用者さんの協力のもと、健康にきめ細やかに配慮されています。

ほっこりちゃんは居場所

ほっこりちゃん利用のきっかけはさまざま。「はじめは個別相談の日に参加させてもらいました。医療的ケアの必要なお子さんの居場所もあったら、とほっこりちゃんが生まれ、そのまま利用を続けています。」とおっしゃる方もいれば、知り合いに紹介してもらったという方も。

みんなそれぞれ理由は違うけれど、利用者の方にとって、ほっこりちゃんはとても大切な場所になっています。

「体調を崩すことも多いので、イベントに申し込んでもキャンセルしてもらうこともしばしば。普通なら準備してもらったのに申し訳ないと思ってしまうようなキャンセルの連絡も、ここならみんな同じような状況なので、気負わずで、気軽に利用させてもらえます。」

「『こんなときどうしてる？』『病院でこんなこと教えてもらったよ』といった情報交換はここでできないので、助かっています。』

「医療的ケアが必要で、気軽に外に遊びに行きづらい子どもは、病院や家で大人に囲まれて大きくなります。そんな中で同年代の子どもと交流できるほっこりちゃんのような場所は、親も家族でつながる貴重な場所です。」

ほっこりちゃん、医療的ケアが必要な子ども達とそのご家族にとって、安心できる居場所にも楽しい場所にもなってくれます。是非ほっこりちゃんに遊びに行ってみませんか？

ほっこりちゃん リーフレット→

コロナ禍での新しい活動～リモートでのイベント開催～

コロナ感染症の変異株が続々とあられ、小さな子どもたちにも感染が及ぶようになってきた昨今、特に医療的ケアの必要なお子さんたちにとって、感染リスクが非常に高いのは言うまでもありません。病院から退院してようやく子育て支援の施設にもお出かけしたいなあ～と思っていた矢先、コロナ感染症拡大に戸惑っている親子さんちもきついたらしくなりました。

子育てに関する情報も少ない中で、孤立してわが子を感染から守りながら自衛生活を続けるのは至難の業です。少しでもみんなで、つながる場を提供できないか？という思いから稲荷の家ほっこりでは、長年続けてきた様々なイベントや講座をリモートに切り替えて開催しています。こんな時だからこそ感染リスクのない！リモートでつながって、楽しいひとときを、ホッとできるひとときを、笑顔になれるひとときを、みんなで作っていったらと思っています。



稲荷の家ほっこり子どもたちに大人気のもんきちくん！
明るい元気なキャラクターで、いつもイベントを盛り上げてくれます。



月1回開催している「リモートで遊ぼう！」では親子さん向けに、季節の歌や手遊び、ペープサートやパネルシアターなどを楽しんでいます。

お名前シートで自己紹介タイム！お名前を呼ばれるのってちょっと緊張かしらけれど、とっても嬉しいねえ～みんなが笑顔になる瞬間です！

「七夕のついで」リモートで開催！おりひめとひこぼしが密着する七夕のお話を影絵で楽しみました。光と影が創りだす不思議な世界に大人子どもも企画したスタッフさきも引き込まれ魅了されました

光華女子大学の学生さんたちが子どもたちの関わりの中から、学部の専門領域の枠を超え、多様な人々との協働活動の可能性を考えると自発的に立ち上げられた活動。レインボープロジェクト！この素晴らしい活動をされている学生さんたちが「ほっこりちゃん」の活動に賛同して、子どもたちのためにリモートイベントにご協力していただきました。

「どんな色が好き～？」気晴らしされている声楽家の青野浩美さんの明るく楽しい素晴らしい歌声に合わせて、電子黒板に登場したカエルさんたちがみんなの好きな色に変身していくよ～

電子黒板に登場したカエルさんたち。楽しいね～

ラジオで発信「医療的ケア児が集う場所」

FM79.7「京都三楽ラジオカフェ」（NPO京都コミュニティ放送）の「KYOTO HAPPY NPO」にて医療的ケアの必要なお子さんを必要とするご家族に向けて発信されました。
特選パーソナルで放送された番組のコーナーをご視聴いただけます。

京都府理療師会
「子育て支援日本一」推進会議に参画 企画 企画として「和食...

わくわく体験！府民みんなの「府民交流フェスタ」！

Facebook

団体紹介 主催者の挨拶・今年のようす
フェスタ概要 経過
クイズ・じゃんけん大会
会場紹介コンテンツ もうひとつの京都

お問い合わせ

※団体の活動についてのご質問・ご要望は、団体ホームページにてご連絡ください。

主催 きょうと地域創生府民会議 共催 京都府立植物園 同時開催イベント 京都 SeeLifeフェア

〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町 西入敷1-1内附 電話：075-414-4855

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 電話：075-701-6141

京のむらづくり交流フェア
ほっと逸品マルシェ
きょうと子育て環境日本一サミット